

今回の「700号特集」を入れてこれまでに11回「特集」を担当しました。3カ月前から準備を始め、取材し、原稿を書いてきましたが、果たしてそれが皆さんに興味を持って読んでいただけたのか、独り善がりの記事になっていないか…。何カ月も前の広報紙を取り出しては自分が書いた特集を読み返し、もう少し違った角度から書けば良かったかも…と後悔したり、今思えばタイムリーな記事だったんだと安心したり…の繰り返しです。皆さんに読んでいただける広報紙作りに少しでも役立てるよう、「市民感覚」を忘れずに日々精進します。(W)



- 1人分の栄養価 熱量344kcal、たんぱく質11.9g、脂質5.2g、塩分1.3g
- ワンポイント 本当に簡単で、カルシウムもたっぷり取れます。忙しい朝にはとても便利な一品だと思います。
- 考えていただいた人 馬場季菜さん(佐世保北中3年)

ヘルシー
クッキング
コンテスト
学生部門
優秀賞

元気な朝ごはんレシピ

朝ドン!

材料・4人分

ご飯 600g
木綿豆腐 1丁
白ごま 大さじ1
しらす干し 30g
とろろ昆布 10g
青のり 適量
だししょうゆ 大さじ2

- 作り方
- ①豆腐を小さくつぶす。
 - ②しらす干しを湯通しする。
 - ③器に盛ったご飯の上に豆腐、とろろ昆布、しらす干しをのせ、白ごまを振る。
 - ④③の上から青のりを散らす。
 - ⑤だししょうゆをかけてできあがり。

市長日記



ふるさとを思う心 渋谷センター街で佐世保のPR

一日に数万人が往来する東京「渋谷センター街」。その道路の両側、約30mの置きに電照広告塔が48基設置されています。

12月26日、この広告塔に佐世保パーガをアレンジした「佐世保市の観光紹介」と、世界遺産暫定リスト入りした「黒島天主堂」の写真が美しく照らし出されました。

センター街でのこの広告、実はこのセンター街振興組合の副理事長で、在京の佐世保市出身者でつくる「東京佐世保会」の会長を務める小野寿幸さんのご好意で、一昨年に続き、3月まで無償で提供していただいているんです。センター街のほかの役員の方々も、小野さんのふるさと佐世保を思う気持ちが極めて強いことや、センター街と四ヶ町商店街が姉妹商店街



であることなどから、快く承諾していただいたとお聞きしています。ちなみに今回の広告を正規料金に換算すると、約3,000万円にもなるそうです。

小野さんは、渋谷センター街を「安心安全なまち」にするためパトロール隊を結成して青少年の非行防止に取り組まれるなど大変な熱血漢で、マスコミにも何回も取り上げられています。若いころに佐世保を離れられたということですが、常に佐世保のことを思い、少しでも佐世保のために役に立ちたいと思っておられるとのこと。小野さんの佐世保を思うお気持ちとご協力いた

だいた皆さんに、改めて心から感謝を申し上げます。 佐世保市長 朝長 則男



九州初の市街地高架(本島町) 佐世保駅を出発した松浦鉄道(MR)は港を西に見て北上し、すぐに島地山のトンネルに入り、出たところ最初の駅「佐世保中央」に着きます。アーケードが架かる四ヶ町商店街の上をゆっくりと横断し、そのままアーケードと並行する国道35号を渡って、わずか二百mほどで次の中佐世保駅です。

この松浦鉄道は、国鉄松浦線が赤字で廃止予定となった昭和六十二年、官民が出資する第三セクター鉄道で発足。駅を三十二から五十六に、運行列車数も八十六本から百五十五本へと住民本位に切り替え、平成五年から黒字経営となって定着しました。

現在のJR佐世保線は、明治三十一(一八九八)年に九州鉄道として開通、その後国有となりました。一方、俵町から北は、中倉万次郎の手

で大正十(一九三二)年までに柚木を含む相浦谷から大野、佐世保間が開通、最初の軽便鉄道から一般鉄道となつて需要に応えました。そして、国鉄の伊佐線(佐世保〜伊万里間)が昭和八年着工、佐世保〜北佐世保間三・五キロが二年後に開通するのです。この伊佐線の大きな特色の一つが九州で初めてとなる市街地の上を鉄道が走る六カ所の高架線でした。同十一年には佐世保鉄道を国が買収し、太平洋戦争敗戦の昭和二十年に旧松浦線が全線開通しました。

歴史散歩



第524回



筒井隆義

情報クリップ



1月21日、本市は市役所や愛宕地区公民館などで「原子力艦原子力防災訓練」を実施しました。訓練には、国、県、市の職員、海上・陸上自衛隊、市民など約530人が参加し、通信手段の確保、防災資機材の緊急輸送、市民への医療救護活動などの訓練を行いました。今回も米海軍が不参加だったことに対し、朝長市長は「再三の要請にもかかわらず、不参加だったのは非常に残念」と訓練終了後に話しました。

- ☎消防局防災対策課 ☎23-5121
- ☎基地政策局 ☎24-1111



1月27日、石木ダム建設促進佐世保市民の会と本市は、石木ダム建設促進を図るため「佐世保市民総決起大集会」をアルカスSASEBOで開催しました。2,300人を超える皆さんが参加した集会では、三宅会長と朝長市長が主催者として、金子知事、竹村川棚町長などが来賓者としてあいさつした後、石木ダム建設事業の現状などが報告され、県の事業工程どおりダム着工を求める集会アピール文が採択されました。

- ☎企画調整課 ☎24-1111
- ☎水道局水源対策室 ☎24-1151



国で検討されている「定額給付金」の支給準備などを進めるため、1月27日、本市は「定額給付金・させぼ振興券室」を市役所10階に設置しました。給付方法など詳細については、定額給付金が決定次第、案内文書を世帯主あてに発送するなどしてお知らせする予定です。近年、「定額給付金」の手続きを装った「振り込め詐欺」が全国で頻発しています。詐欺に遭わないよう十分にご注意ください。

- ☎定額給付金・させぼ振興券室 ☎24-1111



青年海外協力隊員として、平成19年1月から2年間スリランカ南部に滞在し、大津波(同16年)の被災者支援などに携わった本市在住の山田貴子さんが、2月3日に市役所を訪れ、市長に帰国報告しました。山田さんは同国の被災状況などをノートパソコンで説明しながら、「支援が行き届いていないことを悲しく感じた」と話し、同国の支援状況などを振り返りました。

- ☎文化交流課 ☎24-1111